

5 医 審 第 号
令和 6 年 2 月 日

福 島 県 知 事 様

福島県医療審議会議長

新しい医療計画の策定について（答申）

令和 5 年 3 月 1 7 日付け 4 健第 1 4 8 2 1 号で諮問のあったこのことについては、審議検討の結果、別紙「第 8 次福島県医療計画（案）」のとおり答申します。

なお、計画の推進に当たっては、以下の点に留意するよう申し添えます。

記

- 1 本計画の実効性を確保するためには、医療に関係する全ての方が推進主体としてともに考え、ともに取り組むことが必要である。
したがって、県は、県民、関係団体、事業所、市町村など様々な主体とそれぞれが担う役割に応じて、各主体間の連携や調整を適切に図り、本計画を着実に推進すること。
- 2 県民一人ひとりが自覚を持って保健・医療に参画し、県民全体で地域医療を守っていく必要があることから、県民が身近に感じ、自分事と感じられる計画となるよう、計画の趣旨や内容の周知を図ること。
- 3 医療法等関係法令の改正や本県の医療を取り巻く状況の変化を踏まえながら、毎年度、進捗状況の点検と施策や取組の効果検証を行い、適時に必要な見直しを行うこと。